

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄北中学校
-----	--------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、県より学力向上研究の指定を受け研究に取り組み発表を行い一定の成果を上げた。今後は、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業の組み立て方についてまだまだ実践を重ねていく。 ・昨年度、取り組んだ家庭学習の内容や方法について見直しを図り、「810大作戦」を継続し、学習習慣の定着を目指す。そして、集団での学び合い(授業)と個の自学力(家庭学習)をしっかりとリンクさせる。
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	「自ら学びを求める人」「志をもちゆめ実現を目指す人」「心身ともに健康な人」
----------	---------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え判断し、決定し自ら行動する資質の育成 ・たくましく生きぬくための心身の健康と体力の増進
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学力向上対策シートマイプランでの各自の取組内容内容を共有し、振り返りを定期的に行う。						
	○家庭学習の定着を目指した分かりやすい授業の実践	○810大作戦が実施できたと回答した生徒60%以上	・授業と課題をリンクさせ、基礎基本の定着を図る。 ・810運動が充実したものになるように発展的な学習課題にも取り組ませる。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒70%以上	・道徳教育の充実のために道徳の授業の質の向上に努める。 ・楽しい道徳の授業づくりについて、職員研修を行う(年1回以上) ・人権集会や平和集会などに生徒会を中心に取組ませ、主体的に考える場を設ける。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・生徒指導協議会であった生徒について教育相談と連携しsc、sswや支援員を有効活用し生徒が安心できる生活環境を作る。 ・生徒指導から出ている生活アンケートで様子を把握し、いじめの早期発見に繋げる。						
	◎生徒が志をもち、夢や目標の実現に向けて自分で考え判断し、自ら行動するための教育活動	◎「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした生徒70%以上	・進路学習や行事を通して目標をもちそれを認め合い、支援できる学校の雰囲気作りを図る。 ・総合的な学習の時間(夢タイム)を通して、地域の方と共に活動する場を設け、チャレンジしやすい学習環境を整える。 ・なりたい自分を明確にできるよう、行事や生活で目標を立て活動する習慣をつけさせる。						
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間でも420分以上の生徒80%以上	・自分の足で登下校するように指導する。 ・部活動開始を帰りの会終了後10分以内にスタートできるように全職員でサポートする。						
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・食に関する専門的な知識や日ごろの生活で役立つことを、年間計画をもとに栄養教諭と連携して指導する。 ・朝食摂取率90%以上を目指した食育の指導を行う。						
	○望ましい生活習慣の形成	○生活面全てで部活動時と同じ意識で生活する「24時間部活動」ができていると回答した生徒80%以上	・各部活動ごとに長期目標・短期目標を設定し、個人目標も同じように設定する。個人にはプラスして生活習慣にかかわる行動目標をひとつ立てさせる。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を職員全員が遵守する。	・タイムレコーダーを活用し職員の毎月の時間外勤務時間を把握し適切な指導を行う。 ・挨拶や声かけを大切に、お互いが見守り合う組織作りを行う。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
○学校経営・教育活動	○「夢プロジェクト」の推進	○自分たちの手で夢プロジェクトを企画・実行し、成功させた」と回答した生徒70%以上	・自ら気づき・考え・行動するを常に意識する。小さなことも生徒会で情報交換し、できることから実践することで、達成感を味わう機会を増やす。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---------------------------------------------------------------------------